

らしてください。

取材班 TEL(086) 803-8136
FAX(086) 803-8137
支局 TEL(0867) 22-0372
FAX(0867) 22-0376

Eメール seiji@sanyo.oni.co.jp

Okayama

岡 山 市 民 版

海底ごみ問題知って

グリーンパートナーおかやま

NPO法人グリーンパートナーおかやま(事務局・岡山
市南区)は、瀬戸内海をめぐり、海底ごみ問題をとり上げたアニメを作った。粘土人形を使ったクレイアニメの手法を用い、原因になるごみを川や山に捨てないよう呼び掛ける内容。25日に城下公会堂(北区天神町)で開く「環境カフェ」で初上映する。(小野寺万由子)

同法人は2009年から年1
〜2回、自治体や地元漁協と協
力し、小豆島沖などで底引き
網による海底ごみ回収に取り
組んでいる。アニメ作りは回収
活動に参加した岡山大生や山
陽女子中地歴部有志も加わり、
約20人で2月からスタートし

クレイアニメは粘土人形を少
しずつ動かしたり、変形したり
して1コマごとに撮影してい
く。ストップモーションアニメの一
種。メンバーはカラフルな粘土
人形約80体を用意し、倉敷芸術
科学大芸術学部の中川浩一准教
授らの指導を受けながら約50
0枚を撮り、約2分間の映像に
仕上げた。

アニメのタイトルは「山・川
・海はつながっている」で、ボ
リ袋や靴などの大量の海底ごみ
を見つけた魚の親子が、川辺で
ごみ拾いをしている人間の親子

す映
あ初

粘土人形でアニメ



魚の親子が海底ごみに驚く
アニメの一場面

に知らせ、クジラや漁協にも協
力してもらいながら一緒にごみ
を集めていくストーリー。

瀬戸内海海ごみ対策検討会
(沿岸自治体や漁業団体などで
組織)の09年報告によると、瀬
戸内海をめぐり、漁業に支障
を来すごみも多い。同法人によ
ると、11年に引き揚げた海底ご
みは1日57キと09年(107キ)に
から半減したが、依然としてベ
ットボトルや空き缶、家電製品
といった家庭から出るごみが大
半を占めているという。

同法人の藤原瑠美子理事長
(64)は「人間の生活から生まれ
たごみが豊かな海の資源を脅か
している」という意識を多くの人
に持つてもらいたい」と話して
いる。

環境カフェは午後4時〜同5
時40分。回収活動に参加した岡
山大学院生の発表や、参加者
との意見交換などもある。先着
50人、無料。申し込みはグリー
ンパートナーおかやま(086
126712478)。



クレイアニメ制作するグリーンパ
ートナーおかやまのメンバー